



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

コード番号 6879 URL <http://www.imagicarobot.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 朋彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営企画本部 担当 (氏名) 角田 光敏

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,926	△9.9	232	△20.1	355	2.3	490	—
25年3月期第1四半期	12,122	11.2	290	△37.3	347	△24.7	△160	—

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 587百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.55	—
25年3月期第1四半期	△4.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,721	25,053	64.0
25年3月期	39,101	24,973	63.4

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 24,779百万円 25年3月期 24,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,500	△1.8	400	△52.1	525	△44.2	539	281.3	12.69
通期	52,000	4.2	2,100	4.4	2,200	5.0	1,200	131.3	28.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料4ページ【2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	44,531,567 株	25年3月期	44,531,567 株
26年3月期1Q	2,059,465 株	25年3月期	2,059,465 株
26年3月期1Q	42,472,102 株	25年3月期1Q	39,373,487 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安を背景とする輸出環境の改善や金融政策の効果等により、景気回復の兆しが一部で見られるものの、海外景気の下振れリスクや国内の雇用情勢・所得環境の先行き等にも注意が必要な状況となっております。個人消費においては、雇用者の実質所得が底堅く推移する中、消費者マインドが改善していること等から持ち直しの傾向が続いております。

このような環境の下で、当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行っており、グループ一丸となって、経営ビジョンに掲げております「映像コミュニケーションにおける新たな価値創造」に向けて、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は109億26百万円（前年同四半期比9.9%減）、営業利益は2億32百万円（前年同四半期比20.1%減）、経常利益は3億55百万円（前年同四半期比2.3%増）、四半期純利益は4億90百万円（前年同四半期は四半期純損失1億60百万円）を計上いたしました。

②セグメント別の業績

1)映像技術サービス事業

テレビ番組、CM制作分野におけるポストプロダクション作業は、テレビバラエティ番組の受注が特番も含めて比較的好調でしたが、テレビCM関連作業の受注が、業界全体の落ち込み等の影響により減少いたしました。映画分野におきましては、邦画の大作のロングラン上映を控えている一方で、洋画のラインナップが減少傾向にあるため、受注本数が減少しております。また、DVDやBlu-rayのパッケージ分野におきましては、オーサリングの受注が好調であった反面、プレス作業の受注がやや低調に推移しましたが、前年同四半期の実績を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は36億21百万円（前年同四半期比13.6%減）、営業利益は3億19百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

2)映像ソフト事業

広告制作におきましては、全体的に受注量が低調に推移し、売上高・営業利益ともに前年同四半期を下回りました。一方コンテンツ制作におきましては、「劇場版タイムスクープハンター」が本年8月31日に公開を予定しておりますが、収益面では、11月16日に公開予定の映画「ジンクス!!!」やテレビドラマ等の制作収入が売上及び利益に貢献いたしました。また、3Dプロジェクションマッピングの映像制作においても常設案件を受注するなど堅調に推移いたしました。

なお、当事業セグメントにおいてアニメーションを主とした映像作品の企画ならびにプロデュースを提供してございました、株式会社ジェンコの保有全株式を譲渡したため、同社は当第1四半期連結累計期間より当社の連結対象から除外いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は21億82百万円（前年同四半期比34.5%減）、営業損失は11百万円（前年同四半期は営業利益82百万円）となりました。

3) 放送事業

放送分野におきましては、「イマジカBS」「歌謡ポップスチャンネル」「食と旅のフーディーズTV」の3チャンネルを運営しております。「イマジカBS」は、新規ケーブルテレビ局での配信を開始したことで加入者数が増加しており、また、「歌謡ポップスチャンネル」は、ケーブルテレビの加入者数及び広告収入が増加いたしました。「食と旅のフーディーズTV」は、加入者数は前年同四半期対比で減少しておりますが、広告収入等で収益をカバーしました。一方、ホテル事業におきましては、ペイテレビで着実に売上を伸ばし工事案件が少ない中、前年同四半期の実績を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は13億15百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業損失は20百万円（前年同四半期は営業損失1億81百万円）となりました。

4) 映像システム事業

イメージング分野におきましては、主力の高速度デジタルビデオカメラの販売は海外市場における受注が伸び悩んでいるものの、国内の自動車メーカー案件の受注獲得等により持ち直しの兆しが出てきております。プロ用映像機器分野におきましては、テレビ局への大型案件の受注に加えて、HDビデオサーバー案件の納品により、前年同四半期の実績を上回りました。またCADソリューション分野におきましては、最新CADシステム製品の販売が好調に推移し、業績に大きく貢献いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は20億62百万円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益は1億19百万円（前年同四半期比77.2%増）となりました。

5) 人材コンサルティング事業

人材派遣・請負サービス分野におきましては、主にWeb職種やゲームエンタテインメント職種を中心に派遣稼働者数が純増した一方で、人材紹介案件の動きが鈍く、売上高は前年同四半期を下回りましたが、販管費の圧縮等により営業利益は前年同四半期を上回りました。映像技術者の人材派遣におきましては、派遣稼働者数及び作業単価が増加したことで堅調に推移しました。コンテンツ制作受託の分野におきましても、ゲーム制作受託を中心に既存追加案件等を受注し、堅調に推移いたしました。

また、当期首より当社グループに加わり当セグメントに属しました、株式会社コスモ・スペースにつきましては、テレビ局への派遣事業や映像制作事業等における業績が堅調に推移し、当セグメントの売上及び利益に貢献いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は26億38百万円（前年同四半期比19.5%増）、営業利益は98百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3億30百万円（1.3%）減少し、248億71百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて49百万円（0.4%）減少し、138億49百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3億79百万円（1.0%）減少し、387億21百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億46百万円(4.9%)減少し、106億22百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて87百万円(2.9%)増加し、30億46百万円となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億59百万円(3.3%)減少し、136億68百万円となりました。

③純資産

純資産に関しましては、前連結会計年度末に比べ79百万円(0.3%)増加し、250億53百万円となりました。

これは主に、四半期純利益の計上による増加、及び配当金の支払による減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成25年8月8日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。なお、平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表しました前回発表値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,125,809	10,042,631
受取手形及び売掛金	*1 9,046,122	*1 7,338,030
たな卸資産	5,076,985	4,897,533
繰延税金資産	847,936	895,657
その他	1,145,482	1,723,953
貸倒引当金	△40,409	△26,216
流動資産合計	25,201,926	24,871,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,633,298	11,628,958
減価償却累計額	△8,420,920	△8,502,616
減損損失累計額	△201,105	△187,693
建物及び構築物(純額)	3,011,272	2,938,649
機械装置及び運搬具	20,295,190	19,472,355
減価償却累計額	△18,937,060	△18,163,786
減損損失累計額	△275,679	△239,355
機械装置及び運搬具(純額)	1,082,450	1,069,213
土地	2,995,964	2,997,730
建設仮勘定	39,539	47,531
その他	3,227,106	3,430,215
減価償却累計額	△2,236,719	△2,425,847
減損損失累計額(その他)	△36,763	△36,721
その他(純額)	953,623	967,647
有形固定資産合計	8,082,850	8,020,772
無形固定資産		
ソフトウェア	450,085	516,432
のれん	77,672	59,709
その他	131,803	48,594
無形固定資産合計	659,560	624,736
投資その他の資産		
投資有価証券	3,002,038	3,095,907
関係会社株式	160,300	72,635
敷金及び保証金	786,228	798,000
繰延税金資産	842,219	912,957
その他	502,290	451,226
貸倒引当金	△135,985	△126,312
投資その他の資産合計	5,157,092	5,204,414
固定資産合計	13,899,503	13,849,923
資産合計	39,101,430	38,721,513
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	*1 3,743,529	*1 2,962,349
短期借入金	2,010,050	2,023,316
未払金	908,351	911,028
未払法人税等	206,461	133,927
賞与引当金	859,195	607,097
受注損失引当金	30,000	69,475
その他	3,411,447	3,914,873
流動負債合計	11,169,037	10,622,068

固定負債		
長期未払金	429,076	376,754
繰延税金負債	517,864	543,894
退職給付引当金	1,544,161	1,655,213
その他	468,019	470,526
固定負債合計	2,959,120	3,046,389
負債合計	14,128,158	13,668,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	14,414,513	14,414,513
利益剰余金	6,842,526	6,736,616
自己株式	△51	△51
株主資本合計	24,501,904	24,395,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452,717	522,821
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△143,999	△121,404
その他の包括利益累計額合計	290,785	383,483
少数株主持分	180,582	273,577
純資産合計	24,973,271	25,053,055
負債純資産合計	39,101,430	38,721,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	12,122,696	10,926,664
売上原価	8,946,240	7,728,453
売上総利益	3,176,455	3,198,210
販売費及び一般管理費	2,885,528	2,965,696
営業利益	290,927	232,513
営業外収益		
受取利息	9,425	594
受取配当金	35,308	82,154
その他	32,494	50,767
営業外収益合計	77,228	133,515
営業外費用		
支払利息	2,836	3,939
為替差損	11,311	—
その他	6,176	6,401
営業外費用合計	20,323	10,340
経常利益	347,832	355,689
特別利益		
固定資産売却益	5,837	112
関係会社株式売却益	—	229,257
その他	—	50,571
特別利益合計	5,837	279,941
特別損失		
固定資産売却損	3,273	9,837
固定資産除却損	68,876	4,799
減損損失	408,988	—
その他	61,501	2,362
特別損失合計	542,639	16,999
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△188,969	618,631
法人税等	△37,533	124,318
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失	△151,435	494,312
少数株主利益	8,888	3,926
四半期純利益又は四半期純損失	△160,324	490,386

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△151,435	494,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,598	70,104
為替換算調整勘定	△16,291	22,594
その他の包括利益合計	△84,890	92,698
四半期包括利益	△236,325	587,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△245,214	583,085
少数株主に係る四半期包括利益	8,888	3,926

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像技術サ ービス	映像ソフト	放送	映像システ ム	人材コンサ ルティング	計		
売上高								
外部顧客への売 上高	4,031,708	3,325,952	1,186,016	2,065,574	1,505,018	12,114,269	8,426	12,122,696
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	162,410	6,028	1,820	42,557	703,629	916,445	△916,445	—
計	4,194,118	3,331,980	1,187,836	2,108,131	2,208,647	13,030,714	△908,018	12,122,696
セグメント利益又 は損失(△)	515,094	82,307	△181,586	67,382	104,747	587,944	△297,016	290,927

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△297,016千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,185,459千円及びセグメント間取引消去△1,482,476千円であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「映像技術サービス」セグメントにおいて、フィルム関連事業の固定資産について、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては408,988千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な変動はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像技術サ ービス	映像ソフト	放送	映像システ ム	人材コンサ ルティング	計		
売上高								
外部顧客への売 上高	3,536,430	2,156,383	1,311,866	2,014,971	1,903,877	10,923,528	3,135	10,926,664
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	85,479	26,589	3,970	47,543	734,636	898,217	△898,217	—
計	3,621,909	2,182,973	1,315,836	2,062,514	2,638,513	11,821,746	△895,082	10,926,664
セグメント利益又 は損失(△)	319,218	△11,283	△20,381	119,391	98,398	505,343	△272,829	232,513

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△272,829千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益968,696千円及びセグメント間取引消去△1,241,525千円であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「人材コンサルティング」セグメントにおいて、当社の連結子会社であります株式会社イマジカデジタルスケープが、株式会社コスモ・スペースの発行済株式の80%を取得し子会社化したことにより、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんを一括償却したことにより、当第1四半期連結累計期間において負ののれん発生益45,183千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。